

中中通信

平成29年11月27日
学校だより 11月号
発行 伊豆市立中伊豆中学校
電話 0558-83-0032
担当 久保田正基

後期生徒会役員決定

10月17日(火)に生徒会役員選挙が行われ、後期生徒会役員が決まりました。生徒会長：3-2若林虎千代さん
副会長：3-1飯田笑さん、2-1瓜島采海さん
書記長：2-1逢野蒼大さん 書記：1-1工藤花寧さん、
1-2加藤立琉さんです。(右:生徒会役員のみなさん)



また、生活委員長に3-2八木澤倫さん、環境委員会に3-1中野陸希さん、情報委員長に3-1福島亜実さん、学習委員長に3-2平井華笑さん、厚生委員長に3-1山田飛流さん、3年学年委員長に3-2杉本真梨さん、2年学年委員長に2-1栗原佐樹さん、1年学年委員長に1-1若林竜ノ介さんがそれぞれ選出されました。

若林新生徒会長は、立ち会い演説会で、あいさつの大切さを話していました。役員のみなさんを中心に、もっとあいさつが活発な学校になることを期待しています。

中伊豆中学校では、「6つの誇り」という伝統があります。①積極的な挙手・発表②時間を守る③さわやかな挨拶④無言清掃⑤部活動での挑戦⑥響き合う合唱、というものです。今回の生徒総会では、④無言清掃について、「無言清掃を誇りにするためにはどう改善すればいいか」という議題で話し合いが行われました。縦割りグループに分かれて話し合いが行われ、3年生がリーダーシップを執っている姿を見ることができました。今までも、清掃時には、myバケツを1人1つずつ持って丁寧に清掃していました。話し合いの後、より丁寧に手早く清掃活動を行っています。



中伊豆生の活躍

陸上部の三枝未希さんが、10月29日(日)に横浜で行われたジュニアオリンピック中学2年走り幅跳び出場し、4位に入賞しました。記録は、5m35です。台風による荒天の中での立派な記録です。(→三枝未希さん)



野球部は、田方地区秋季新人戦決勝戦が行われ、5対1で函南東中に勝ち、見事来年2月に行われるSBS野球大会県大会の出場を決めました。13年ぶりの出場です。



沼津ユネスコ協会絵画展で、1-2高田恭羽さんが日本ユネスコ協会連盟会長賞(左の作品)、1-1鴻野祥舞さん1-2加藤立琉さん萩野夏音さんが沼津ユネスコ協会奨励賞を受賞しました。

「税についての作文」で、3-1赤堀浩太さんの作品が、三島税務推進協議会長賞に選ばれました。

中伊豆中生が文武に渡って活躍しています。

授業拝見

2年2組英語 川口先生、 3年1組道徳 平井先生

11月号は、川口先生と平井先生の授業を紹介します。



まず、川口先生の英語の授業です。本授業は、「これまで学習してきた不定詞を使ってさらに詳しく自分の将来の夢、希望や自分がやりたいことを英語で表現し、発表することができる」ことを目標にしています。最初、じゃんけんゲームをして生徒が英語を話したり、聞いたりする雰囲気を一気に高めます。不定詞の3つの使い方（名詞的用法、形容詞的用法、副詞



的用法)を、写真を使って生徒に問いかけます。そして、ALTのジョルダン先生が、自分の将来の夢について映像を交えて語ります。この発表を聞いて、生徒も不定詞を使って自分の夢や思いを表現しようと必死になって考えます。①就きたい職業について②会いたい人について③行ってみたい国について④将来やりたいことについてなど、コミュニケーションを楽しんでいました。授業では、「主体的・対話的・深い学び」に迫るために、グループになったりペアになったり、学習形態を変えながら、生徒たちが伸び伸びと話している様子が印象的でした。



次に、平井先生の道徳の授業です。ご存じのことと思いますが、再来年度から中学校では道徳が教科化されます。本授業のねらいは、人間の弱さや醜さに苦悩しながらも、“誇りある生き方とは何か”を追求する心情を高めることです。まず、平井先生は「誇りある生き方ってどんな生き方だろう。」と生徒に問いました。答えの難しい問いに生徒も真剣に考えます。続いて、資料「二人の弟子」を先生が読み聞かせます。登場人物の3人（道信、智行、上人）について考えるために、役割演技をします。



(左写真)



道信は苦しい修行からは逃げ出したが、もう一度やり直したいと寺に戻ってきた弟子。智行は、苦しい修行に耐え頑張っている真面目な僧侶。二人の師匠の上人は、もう一度やり直したいと申し出た道信を許します。「どうして？」と問います。そして、月明かりに照らされた白百合の花を見て、智行が涙を流します。生徒は、智行がどんなことに気づいたのか考えます。智行の気づきに、共感した生徒は、最後に、今日の授業で誇りについて感じたこと考えたことを書きました。

生徒は、最後に、今日の授業で誇りについて感じたこと考えたことを書きました。

以下は生徒の作文です。

- ・誇りある生き方は自分のことをよくわかっていて、マイナスな面も受け入れて、プラスにしていく、向き合えることだと思う。失敗してもやり直せる。
- ・私は、何度道を踏み外しても踏み外したことに気づいてやり直そうと努力していく生き方だと思う。たとえ、犯罪を犯しても罪を償ってやり直そうと思える心が大切。真面目に生きている人の方が偉いけれど、自分の間違いに気づいて、そこから頑張れる人も私はすごいと思う。自分自身と向き合うことで自信がもてる！
- ・人はそれぞれ未熟なのかもしれない。だから、一生懸命はかっこいいとか美しいとか、みんなのあこがれになるのかもしれない。また、自分の思いを伝えたいときに、もし誰か1人でも認めてくれれば、それが誇り。

